

## 下田市立学校統合準備委員会「校章」第3次審査

校章案	デザインに込めた思い
<p>【小学生1】</p> 	<p>山もあって、海もあって、田んぼもあるからです。それを一つにしました。</p>
<p>【小学生2】</p> 	<p>城山公園にさくたくさんのあじさいがとてもきれいです。そのあじさいの花びらをイメージした校章を考えました。まん中からは下田の海をイメージしています。(あじさいの青) 上半分は下田の太陽をイメージしています。(あじさいの赤)</p>

## 校章案

## デザインに込めた思い

## 【小学生3】



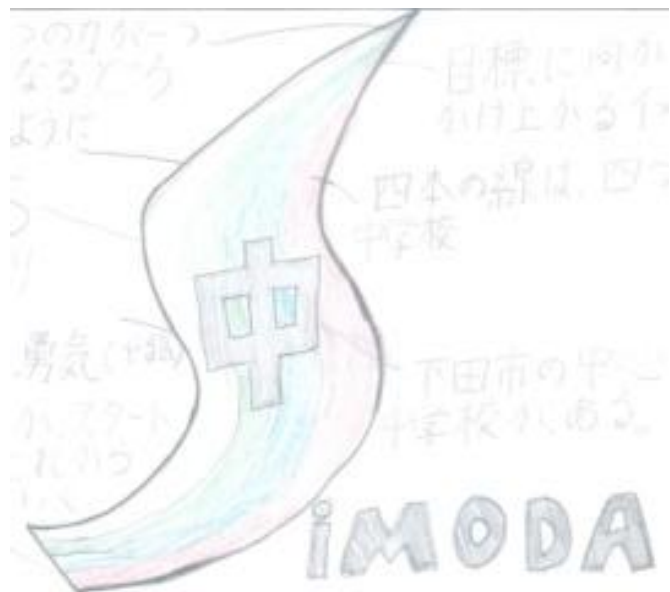
下田のきれいな海の波と、下田中学校の桜なみきの桜をイメージして書きました。いつまでもふるりの海と、入学した時の気持ちをわすれずにたいです。

## 【小学生4】



山川海へとつながっていて、いかりのマークをモチーフに山と森林をも入れています。

## 【小学生5】



これから一本の線になる前の力を貯めている感じ。どんな困なんも乗り越えられる突破力。水の流れのようにいろいろな変更に対応する力のイメージ。

## 【中学生1】



下田といえば自然の素晴らしさが印象的だから、葉と波を入れた。また、葉は4枚にすることで統合前の4校の生徒が一つにまとまってほしいという願いを込めた。波は全国的に有名な下田の海と、開港のまちということを表している。

校章案

デザインに込めた思い

【中学生2】



下田は海がきれいなので、海の波とあわをイメージしてデザインしました。

【中学生3】



下田の海をイメージした波と下田の「S」を合わせた。「\$」の形は船とかイカリに見えなくもない。

## 校章案

## デザインに込めた思い

## 【中学生4】



下田は自然豊かな場所なので、山、海をいれた。4つの中学校が統合するので、4つの山で表した。円は統合して1つになるので、これからも地域と1つになってほしいという願い。  
“中”の先がとがっているのは、未来、前を向いてつき進んでほしいという願い。

## 【中学生5】



4つの中学の海や山に囲まれた自然に恵まれたところなので、海の波のデザインと山のデザインを入れました。

## 校章案

## デザインに込めた思い

## 【中学生6】



まずつくるときはカッコイイものにしてあげたいと思っていたので、伊豆の見所の海を中央にいれて、そのうしろにあじさいのシルエットを入れて下田ならではの校章にしました。

## 【中学生7】



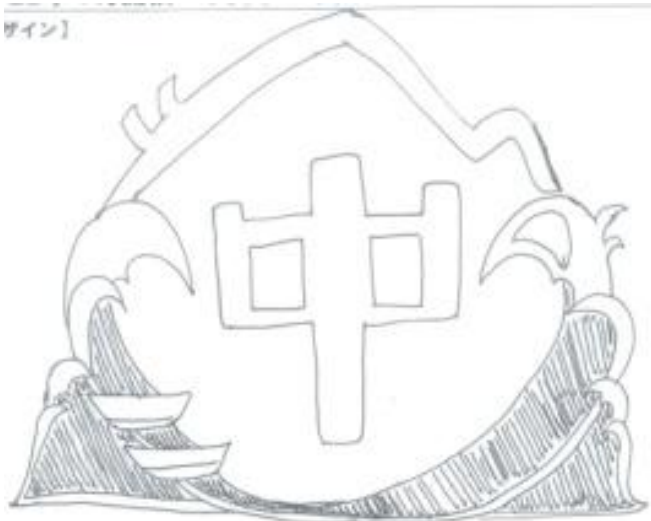
最初はオリジナルの校章にしようと思いましたが、統合して4つの中学校が1つになるので他校の校章も使いたく、組み合わせた形にしました。円は始まりも終わりもなく、決して途切れることがないという意味となっています。また東中の波を円の外側にかき、波打っているようにしました。シンプルに見えてもたくさんの意味がこめられています。統合した年の3年生は私達中学1年生なので、この先仲間となる他校の人たちに「いいな」と思ってもらえるように作りました。

## 校章案

## デザインに込めた思い

## 【中学生8】

デザイン]



「シモダ」というカタカナを図案化しました。上の「シ」は寝姿山などの山をモチーフにしました。「モ」は二本の線で船を、「ダ」では下田名物の海を波で表しました。全体的に丸っこくなくなってしまったので、もし調整をされるならシュッと三角っぽくしていただけると嬉しいです。

## 【中学生9】



波は海が豊かなことを表していて、はてしなく広がっていく海のように知的好奇心を広げて、青く澄んだ海のような心を持ち続けたいという思いがあります。鳥と植物は、どこまでも高くのびていくジャックと豆の木のような植物と自由に空をはばたく鳥のように自分の可能性をはばたかせたいという思いがあります。そして JHS は中学校(Junior High School)の頭文字をとって、あえて英語にしたのは、ニューポートと下田が姉妹都市ということで外国との関係もあるという意味があります。

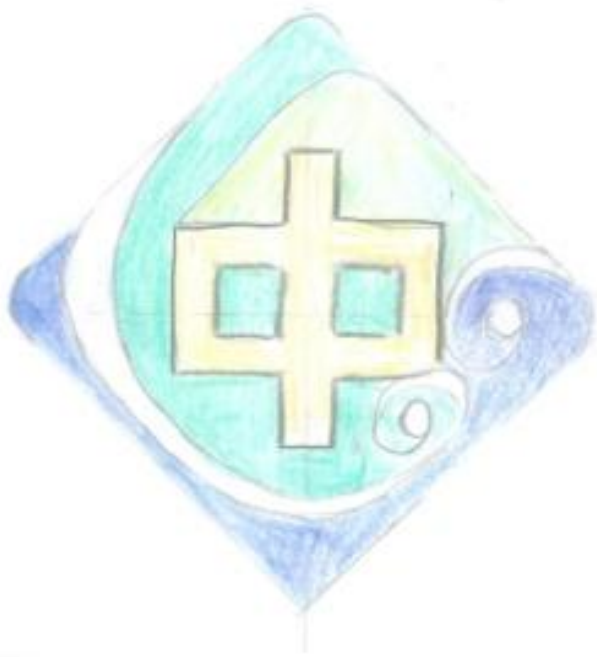
校章案	デザインに込めた思い
<p>【一般1】</p> 	<p>4つの中学校の良さ(校章の特徴)を1つにまとめた。しかし、どれか1つに頼らないように全てを主役にした。それだけでなく、自然に囲まれながら成長してほしいという思いを込めた。</p>
<p>【一般2】</p> 	<p>下田市の花(アジサイ)をシンボライズしてデザインしました。外周にはカモメの翼を配置して中学生達が仲良く自由に羽ばたいているイメージを表現しています。又、中央の輪についている四個の点は花芯であると共に、新しく開校される学校が四枝の集まりであるという意味です。それぞれが誇りを持ちながら一つの輪(和)を作って欲しいと願っています。</p>



## 校章案

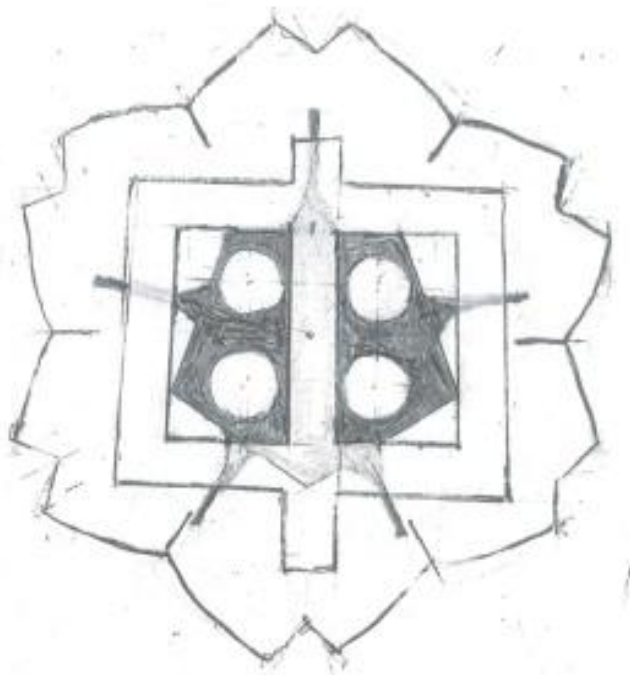
## デザインに込めた思い

## 【一般3】



4校が集まるので四角の形にした。稲穂は山のイメージ、東中は海、下田市を流れる稲生沢川を白で、稲生沢の稲は中の字を黄色で表現する(黄金色でもよいかも)。美しい自然の中で若者がいきいきとすごせる様に若々しい明るい系の校章。紺のブレザーにも映えると思います。

## 【一般4】



構成は外向きの花びら、内向きの花びら、中央に四つの玉を配し、その上に「中」の字をのせた。この構成は下田の中学校が6校、5校、4校と変化したことを表した。この構成に込めた思いの一つは、四つの為は学校生活の中で、知力・学力・体力・気力を磨くことが肝要であり、玉は磨くことによって光を増す。互いに切磋琢磨することによって輝きを増す。図案の中央に配した由縁である。そのことで「田」の字にも見え、中向きの花による空間の形が「大」の字を思わせる。この2つで「下田の子よ、大志を抱け」をアピールしたかった。「知・徳・体」の充実した学校生活、そこで身に付けた力で、将来、世に出て、きっと内向きの花も、外向きの花となって立派になり、咲くことを願ってデザインした。

校章案	デザインに込めた思い
<p>【一般5】</p> 	<p>大海を自由に泳ぎ、成長し、産まれた海岸に戻り、産卵する海ガメ。海ガメが産卵する豊かな下田の海。【海ガメ】をすくすく育つ子どもの健康・長寿への願いと豊かな故郷の象徴とした。4個の●は、「稲梓中」「稲生沢中」「下田東中」「下田中」が統合した事を示している。ハートは、それぞれの地域の思いが合わさり、四葉のクローバーを形づくる。【四葉のクローバー】で4中学校の一致団結を表すと共に、「希望」「誠実」「愛情」「幸福」を学ぶ場の象徴とした。</p>
<p>【一般6】</p> 	<p>下田市の目の前に広がる太平洋から「波」をイメージし、ペリーが当時、眼のした景色を想像し、富士山が描かれた北斎のデザインを参考に作成しました。波しぶきの上部の丸は統合される「稲梓中学校」「稲生沢中学校」「下田東中学校」「下田中学校」を表しました。生徒の皆さんには将来、この風景を背にし、グローバル化の波に乗り、国内に限らず、世界中で活躍できる人に育ててほしいと願いを込めて。</p>

校章案	デザインに込めた思い
<p>【一般7】</p> 	<p>下田中学校の校名から、Shimodaの「S」と市の木「大島桜」をモチーフに、4波頭は統合した4中学校と下田開港の歴史に彩られた港・山・いで湯の豊かな自然に抱かれた中学校周辺と「中」の文字を表すと共に統合した4中学校の歴史や伝統・勉学・スポーツ・文化のあらゆる情報交流の絆と魅力発信をイメージしています。皆の温かい友愛に包まれ、生徒たちの将来への大きな“夢や希望”を目標に更なる飛翔・発展・向上する明るい元気な活気にあふれる「下田市立下田中学校」の輝かしい姿と未来像をアピールしています。</p>
<p>【一般8】</p> 	<p>全体の輪郭は鉛筆の六角形。勉強のイメージで万年筆のペン先と元気な港っ子のイメージでイカリと波しぶき、(黒船の)帆の中には中学校の「中」を白ヌキで入れました。</p>